



由良川メディア連携協議会での取組に対する情報共有等

令和3年11月25日

福知山河川国道事務所

由良川メディア連携協議会での取組一覧表(1)

| 項目 | 由良川の取組 | 第2回協議会での情報共有内容 | 第3回協議会での情報共有内容 |
|--|--|---|-----------------------------|
| A: 災害情報単純化プロジェクト | | | |
| ①水害・土砂災害情報統合ポータルサイトの作成 | ・ポータルサイトについて、由良川メディア連携協議会で情報共有を行い、由良川流域4市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の住民への周知 | ・川の防災情報 【資料2-2P.47】 | — |
| ②DiMAPSによる災害ビッグデータを含む事前情報・被害情報の一元表示 | ・DiMAPSについて、由良川メディア連携協議会で情報共有を行い、由良川流域4市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の住民へ周知 | ・DiMAPS機能 【資料2-1P.23】 | — |
| ④「ワンフレーズ・マルチキャスト」の推進 | ・簡素化した洪水予報文の見出し文を参考に、各メディアにおいて伝達。加えて、各メディアの特性に応じて補足情報を追加する。 ・観測所等の読み仮名リストを配布 | ・よみがなリスト 【参考資料4】 | — |
| ⑤災害情報(水害・土砂災害)用語・表現改善点検会議の実施 | ・行政関係者と報道関係者(記者、キャスター含む)の意見交換会(共同勉強会)などを実施し、メディア関係者と用語や表現内容の点検・改善を行う。 | ・災害対策基本法一部改正による防災情報の見直し ・川の用語集 【資料2-1P.3、参考資料3】 | — |
| ⑥天気予報コーナー等での水害・土砂災害情報の平常時からの積極的解説 | | | — |
| B: 災害情報我がことプロジェクト | | | |
| ⑧地域防災コラボチャンネルの普及促進 | ・より地域に密着した防災情報を住民に発信することを目的として、テレビ放送局や新聞社と連携し、防災コンテンツ等を検討・構築 | ・川の防災情報、由良川リアルタイム防災情報 【資料2-1P.27】 | — |
| ⑨水害リスクラインによる地先毎の危険度情報の提供 | ・一般向けに提供を開始した「水害リスクライン」の機能や得られる危険度情報の見方等について情報共有し、メディア関係者と意見交換会(共同勉強会)を行い、由良川流域4市町の住民(視聴者等)に周知 | ・川の防災情報(水害リスクライン) 【資料2-2P.16】 | — |
| ⑩ダム下流部のリスク情報の共有 | ・平常時の状況及び洪水時のダム下流域におけるリスク情報を分かりやすく提供・周知 | — | ・大野ダム下流の浸水想定図(由良川洪水浸水想定区域図) |
| ⑪ダムの状況に関する分かりやすい情報提供 | ・放流連絡、放流警報及びダム情報のホームページについて、より分かりやすく緊迫感が伝わる文面・画面に修正。 ・ダム湖映像を公開。 | — | ・大野ダム放流通知(ダムの水位・放流状況の情報提供) |
| ⑫天気予報コーナー等での地域における災害情報の平常時からの積極的解説 | ⑤、⑥と同じ | — | — |
| ⑬テレビ、ラジオ、ネットメディア等と連携した「マイ・タイムライン」の普及促進 | ・マイタイムラインの必要性や、策定ツール、作成方法の講習会等の情報を、由良川メディア連携協議会で情報共有を行い、由良川流域4市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の住民へ周知 | — | ・マイタイムラインの事例を紹介 |
| ⑮スマホアプリ等の活用促進に向けた災害情報コンテンツの連携強化 | ・防災情報アプリを運用して住民が直接必要な災害情報を得られるようにする | ・防災情報アプリ 【資料2-1P.31】 | — |

由良川メディア連携協議会での取組一覧表(2)

| 項目 | 由良川の取組 | 第2回協議会での情報共有内容 | 第3回協議会での情報共有内容 |
|---------------------------------------|---|--|---|
| C: 災害リアリティー伝達プロジェクト | | | |
| ⑯河川監視カメラ画像の提供によるリアリティーのある災害情報の積極的な配信 | ・リアルタイム防災情報や川の防災情報や水位情報、Youtubeコンテンツについて情報共有及び連携し、住民(視聴者)に周知 | ・川の防災情報、由良川リアルタイム防災情報 【資料2-1P.27】 | — |
| ⑰水害・土砂災害情報を適切に伝えるため専門家による解説を充実 | ・大雨の影響による河川の増水や最新の状況、今後の見通しについて解説 ・台風説明会や特別警報発表時の記者会見を実施し、早期注意情報(警報級の可能性)が「中」以上の場合にTV会議システムによる気象解説を実施 | — | — |
| D: 災害時の意識転換プロジェクト | | | |
| ⑲住民自らの避難行動のためのトリガー情報の明確化 | ・警戒レベル相当情報を付した、防災情報の発表 | ・洪水予報文の変更 【資料2-1P.29】 | |
| ⑳緊急速報メールの重要性の住民への周知 | ・警戒レベルや緊急速報メールの意味、配信タイミング等について、メディア関係者へ情報共有及び連携し、住民に周知 | 警戒レベルについて紹介 【資料2-1P.5】 | ・緊急速報メールについて取組紹介 |
| E: 災害情報メディア連携プロジェクト | | | |
| ㉑新聞等の紙メディアとネットメディアの連携 | ・メディア関係者と連携して、防災情報コンテンツ等の二次元コードを住民に拡散する ・メディア関係各社のHPにて各種防災コンテンツにリンクを掲載 | — | ・メディア関係各社の防災情報へのリンク、二次元コードの掲載事例を紹介。 |
| ㉒テレビ等のブロードキャストメディアからネットメディアへの誘導 | | | |
| ㉓様々なメディアでの行政機関の災害情報サイトの活用 | | | |
| ㉔災害情報のSNSへの発信力の強化 | ・「川の水位情報」サイトにSNS投稿ボタンを追加 | | |
| ㉕行政機関によるSNS公式アカウントを通じた情報発信の強化 | ・関係メディアによる公式アカウントのフォロワー登録及び積極的なリツイートにより、信頼性の高い災害情報をリアルタイムに提供 ・緊急記者会見をYouTubeによるライブ中継を実施 ・TikTokと連携した防災気象情報の普及啓発コンテンツの配信 | ・近畿地方整備局河川部及び福知山河川国道事務所Twitterの紹介 【資料2-1P.30】 | — |
| ㉖ハッシュタグの共通使用、公式アカウントのリンク掲載による情報拡散 | ㉕と同じ | | |
| ㉗SNS等での防災情報発信及びリツイート | ㉕と同じ | — | — |
| ㉘地方におけるメディア連携協議会の設置 | ・由良川メディア連携協議会を開催し、より地域に沿った災害情報の発信及び地域コミュニティの防災力強化に向けた取組を実施 ・協議会への参加を通じて各種取り組みに対する関係機関との連携を深める | — | — |
| F: 地域コミュニティ避難促進プロジェクト | | | |
| ㉙「避難インフルエンサー(災害時避難行動リーダー)」となる人づくり | ・自主防災組織に対し、防災リーダー研修等を実施し、避難インフルエンサーとなる人材を育成する ・コミュニティラジオに消防団員が出演し、団員確保を呼びかけ。 | — | ・防災リーダー研修等の実施、コミュニティラジオでの呼びかけの実施事例等を紹介。 |
| ㉚登録型のプッシュ型メールシステムによる高齢者避難支援「にげなきやコール」 | ・「にげなきやコール」について、由良川メディア連携協議会で情報共有を行い、由良川流域4市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の住民へ周知 | ・逃げなきやコールについて紹介 【資料2-1P.32】 | — |